

## (29) アロマキャンドル (防災クラフト)

### 1 活動の目的、効果

#### (1) 体験活動上の効果


◎自主性・創意工夫      ○課題克服・達成感

#### (2) ESDの課題解決に必要な7つの能力・態度

##### ② 未来を予測して計画を立てる力

過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力

### 2 活動の詳細

概要 (セールスポイント)	『キャンドルの集い』で短くなったろうそくを、湯せんで溶かし、着色し香りを付け「自分だけのアロマキャンドル」に生まれかわらせます。				
	完成後のキャンドルは、防災袋に入れておくと、災害で停電した時などに役に立ちます。災害時の灯りとしてだけでなく、見た目や香りが加わって、災害時の不安な心が少し癒されるかもしれません。				
諸条件	実施形態	自主活動		提出書類	食事・教材注文票
	必要経費	特定研修活動実施経費（1人50円） +材料費（1セット5人分260円）		所要時間	1時間半程度 (ろうが固まる時間は含まれていません)
	活動場所	研修室		対象・人数	最大
	時期	通年	事前下見	不要	天候
準備するもの	青少年交流の家で貸出し可能な物			団体に準備する物	
	(10人で1セット) 加熱器具 なべ、取っ手付きボウル、木べら こん棒（ハンマー）、貝杓子 (団体に1セット) アロマオイル 押し花			【参加者】 ・筆記用具 等 【指導者】 ・アロマキャンドルセット（5人分1セット） ・キッチンペーパー ・カセットガス	
役割分担	青少年交流の家で職員が行うこと			団体の引率者が行うこと	
	1 道具の準備をし、引率者（担当者）への説明を行う（活動開始30分前までに） ① 貸出物品について ② 活動の進め方について ③ 安全管理について ④ 活動後の片づけについて  4 貸出物品を受け取る			1 交流の家職員から説明を受け、貸出物品を受け取る（活動開始30分前までに）  2 売店で材料を購入する 3 準備から片付けまでの指導を行う 4 貸出物品を返却する	

### 3 活動のふりかえりのポイント



視 点：①「楽しんで、仲間と協力して活動することができたか。」

②「ここでの学びを、未来の災害発生時にどのように役立てることができるか。」

発問例：①「この活動中の、グループのメンバーについて、頑張っていたこと、うれしかったこと、お互いの作品のいいところなど自分が気づいた『ナイスポイント!』を伝えあいましょう。」

②「『災害に備える』ためには何が必要か、自分に何ができるか、今日の活動をとおして感じたことをグループ内で伝えあいましょう。」

### 4 SDGsで目指す姿

		<p><b>13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。</b></p> <p>自分が生活する地域起こりうる災害について予測し、家族や地域社会の一員として、自分にできることを考え行動しようとする姿。</p>
--	---	---

# アロマキャンドル

## 材料・道具・用具



- 加熱器 ・ なべ ・ 木べら ・ こん棒
- 取っ手付きボウル ・ ろう ・ クレヨン
- キッチンペーパー ・ 紙コップ ・ 竹ひご
- 割りばし ・ こより ・ マジック
- アルミホイル ・ アロマオイル
- 押し花 ・ ビニール袋 ・ はさみ

① 前準備をする。

(指導者)

- ・ 鍋に半分くらいの水を入れ湯を沸かす。

(参加者)

- ・ 紙コップに名前を書く。
- ・ 竹ひご、こよりを半分の長さに切る。
- ・ ろうが大きい場合は、小さくする。
- ・ クレヨンの紙をはずし、キッチンペーパーにくるんで、こん棒を使って砕く。



【ポイント】

- ・ ろうもクレヨンもほどほどの大きさで大丈夫です。熱で割と早く溶けます。

①

芯をつくる。

(指導者) ろうそくを湯せんで溶かす。

(参加者) 芯をつくる。

①竹ひごのまん中でこよりを 2 つ折りにし、  
真結びをつくる。

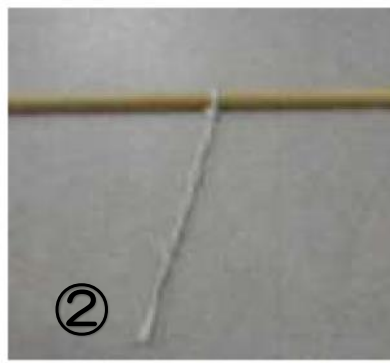
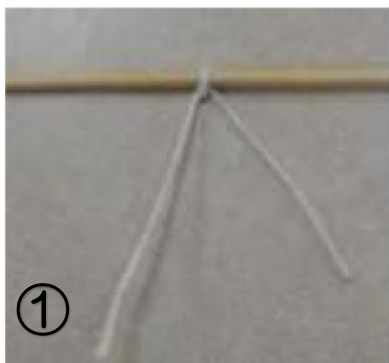
②両方のこよりをより合わせ、一本にする。

(芯が太いほど、ろうソクの火が長く灯ります)

③紙コップと同じ高さの長さで、こよりを切る。

④ろうが半分くらい溶けたら竹ひごごとタコ糸を  
ろうに浸して、コーティングする。

⑤コーティングした芯は、アルミホイルの上で  
まっすぐに伸ばして冷ます。



② キャンドルをデコろう！

A) 紙コップに砕いたクレヨンと  
溶かしたろうを入れ、混ぜる。



B) 紙コップの底や側面に  
押しなばを貼り付け、  
ろうを入れる。



C) 好きな香りのアロマオイルを 2・3 滴  
加えて混ぜる。

【ポイント】 ・アロマオイル＝油です。

※アロマオイルを扱うときは、  
必ず火から離れること！

- ③ 芯を入れ、固める。
- 紙コップの中央になる位置で竹ひごを固定させる。
  - 常温で冷やして固める。



【ポイント】

- 固まるまで時間がかかるので、できるだけ窓際や日陰など気温の低いところに置きましょう。(冬場は2~3時間で固まります)
- 退所の時までには固まってなかったら、自分の名前の紙コップを、持って帰ります。

- ④ ろうが完全に固まっていたら、紙コップから取り出し、竹ひごから芯を切り離す。



紙コップはやぶって構いません

⑤ 完成！



⑥ かたづけ・そうじ

